

シマ de シンポジウム(座談会編) 糸満ハーレー×しまくとぅば

糸満ハーレー座談会

旧暦5月4日のユッカヌヒーに糸満漁港中地区で開催される、糸満ハーレー。糸満ハーレーは、「御願で始まり、御願で終わる」といわれている。西村、中村、新島の3村に分かれて競い合わせ、練習方法や漕ぎ手の選抜などは各村によって異なり、シンカ(漕ぎ手)らをまとめる中心に、各村の監督がいる。各村の監督と、行事委員会の監事者に話を聞いた。

■座談会出席者

座長：崎山正美

糸満市出身。風水舎代表取締役

西村監督：金城 真

昭和51年11月生

中村監督：上原 伯友

昭和54年4月生

新島南地区監督：玉城 武一

昭和47年12月生

新島前端地区監督：上原 真治

昭和55年9月生

自治会長会会長、行事委員会監事：崎浜 盛次

崎山正美座長(以下、座長)…まずは自己紹介をお願いします。

金城真(以下、金城)…金城真、44歳です。屋号は「じらあかひき」です。初めてハーレー舟を漕いだのは、中学2年です。監督に就任した時期は忘れてしまいました。それほど何年も前のことではありません。

上原伯友(以下、上原伯)…上原伯友、41歳です。屋号は「さんだーたかどう」です。ハーレーを初めて漕いだのは、中学3年生です。監督になったのはつい最近、2~3年前です。

玉城武一(以下、玉城)…僕は中学3年で初めてハーレーを漕ぎました。そのあとはずっと、30年以上やっています。監督になってからは、もう15年ほどになります。49歳です。

上原真治(以下、上原真)…新島前端区の上原真治です。40歳です。監督歴は3年目になります。ハーレー舟を初めて漕いだのは、中学3年生です。屋号という屋号はありませんが、上原文房具屋の長男といえれば分かります。

座長…今でもハーレーの競漕が始まる前に「一番エークは誰々」なんて言いますが、そういう風に(=上原文房具屋の長男)屋号を呼ばれたことはあるんですか。

上原真…正式な屋号はないので、ありません。

崎浜盛次(以下、崎浜)…自治会会長の崎浜盛次です。78歳です。ハーレーは区民の団結に一番欠かせない行事ですね。

座長…これから糸満ハーレーについて質問していきます。まず新島には、新島南区監督と、新島前端区監督がいますね。新島は南区と前端区に分かれていて、新島だけで2人の監督がいます。なぜでし



金城 真



ようか。

玉城…昔は、西村にも中村にも、どこの村にも(2つ)あったと思いますよ。いまだにやってる(残っている)のが南区と前端区、ということではないでしょうか。

座長…そうですか。ハーレーのときには、南区と前端区から混成で出るのでしょいか。



玉城 武一

玉城…いや、「青年バーレー」(次世代を担う青年層を育成する目的の競漕)ではありますが。本バーレー(※1)については、「わかしバーレー」(※2)(各村で行われる、ハーレー舟の選出のためのもの)がありますからね。西村も中村も、昔は「わかしバーレー」など、いろいろあったはずですよ。

上原真…ユッカヌヒー(=旧暦5月4日。『4日(よっか)の日』の意味)の2週間前に、南区と前端区で勝負をするんです。勝ったチームが「アガイスープ」(※3)に出て、負けた方が転覆競漕(転覆競漕=クンヌカセー。レース途中で舟を一度転覆させ、再び舟を起こして乗り込み、競漕する)になります。昔からのしきたりとして、そうなっています。

玉城…(わかしバーレーは)西村も中村も、みんなありますよ。

上原真…昔は浜が2つあったらしいですからね。

玉城…そう、昔は浜がた一ちあった。

上原真…舟を出すところが昔は2箇所あって、そこから舟を出して勝負したものの名残が今も残っています。

座長…皆さん、中学生ハーレーからの経験者ですよ。中学生バーレーというのは、いつ頃から行われていましたか。

玉城…中学3年生かな。卒業前の記念なのかよく分からないが、糸満はみんなそうだと思います。中学3年生になったら漕ぐ。中2でも中1でも、(漕ぎ手が)いなかったら漕ぎます。

座長…戦前からあったんですか。

玉城…分かりません。

崎浜…中学生バーレーはなかったはずですよ。

座長…中学生バーレーは、やはり後継者を育てるという意味があったんでしょうか。

玉城…そうだと思います。

座長…今のハーレーはものすごく多くの種目がありますよね。皆さんが監督として面倒をみているハーレー種目はどれですか。

上原伯…青年バーレー、転覆競漕、中学生バーレー、アガイスープです。御願バーレー(※4)は海人だけでやっています。

座長…4種目あるんですね。ハーレー間近になると練習が始まりますね。皆さんが指導しているシンカ(漕ぎ手)たちというのは、大人から中学生までいるのでしょうか。

一同…はい。

座長…監督というのは要するに、いろんな段取りなども含めて、マネージャーのようなことをするのでしょいか。

上原伯…各村によって違うと思います。監督だけでなく、シンカ(漕ぎ手)も一緒に考えます。

座長…シンカは各村によって、(誰が務めるのか)決められているのでしょうか。集まってきた人たちが(自然と)やっているような感じでしょうか。

玉城…漕ぎたいからこ

っち(練習場)に集まってくるというイメージです。一般人(大人)は本バーレーなどを見据えてやりますが、中学生は(次世代の)育成のため、来てくれた人を育てます。

座長…漕ぎ手の選抜はどのようにしていますか。監督が選ぶのでしょうか。

玉城…みんなで決めます。監督はもう権限ないです



上原 伯友

よ（笑）。

座長…でも忙しそうですね、監督は。

玉城…忙しい（笑）。

座長…監督は主にどんなことをするのでしょうか。

玉城…中学生（の漕ぎ手）、青年（の漕ぎ手）、みんな監督が選ぶとしたら、全体を見ることができないですよ。漕ぎ手がこれをやりたい、あれをやりたいと言わないと。頑張りを見て判断しています。

座長…他の村はどうですか。

金城真…だいたい一緒ですね。

座長…監督の下に、そのほかの役職はありますか。集まる人でいろいろ相談して決めるのでしょうか。

玉城…舵取りや一番エークなども一緒に決めます。

上原真…各舟に、舵取りがいます。舵取りは、舟に乗るメンバーの中では一番トップです。権限は舵取りと、一番エークが強い。舵取りと一番エークがシンカをまとめています。監督が一方的に「これをやって」と指示しても、シンカがやらないのであれば通らないですからね。

玉城…監督は端から見て、一番エークやトゥムヌイ（舵取り）らがシンカを教えるのがいいのでは。僕はそう思うが、皆さんどうですか。

上原伯…各村によって違いますよね。

座長…やり方は各村違っているが、それぞれの村で、その村の先輩たちから伝わってきたやり方をやっているのでしょうか。

一同…そうです。

座長…たとえば今年の糸満ハーレーの準備は、いつから始まるのでしょうか。例年どれくらい前に始まりますか。

一同…45日前から。決まっている。

座長…それぞれの村で声を掛け合っていて準備を始めるのでしょうか。

一同…（行事）委員会ですね。

玉城…昔からそうだと思いますよ。最近のことではなくて、今までずっとそうやってきています。

座長…昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症の影響を受けるだろうが、今年は開催できるとしたら、いつ頃から準備を始めますか。

玉城…もう来月からですね。

座長…4月から？

玉城…はい。4月の後半から始まると思いますよ。

座長…その際には、だいたいの漕ぎ手が一度集まって話をするのでしょうか。

玉城…そうですね。でもある程度のメンバーは決まっています。これから新しいメンバーを入れるかどうかなど、その辺は各村で決めることです。

座長…若い子には漕ぎ方も教えていく？

金城真…教えます。

座長…ハーレーまでには形ができてくるのでしょうか。

一同…はい。

座長…ハーレー舟を漕ぐのは結構体力が必要ですよ。初めての子どもたち、大丈夫ですか。

玉城…逃げますよ、きつすぎて（笑）。でも、後々帰ってきます。糸満にはこれしかない。

座長…監督の皆さんはそれぞれ、（監督業以外に）仕事があるわけですよね。仕事と監督の両立はどうしているのでしょうか。

上原伯…厳しいですよ。厳しいけれど、楽しいから調整してやっていますね。

玉城…好きだからね。

座長…自分たちがある程度の年になると、次の後継者を出さなければならない。その辺は、（伝統や技術などを）引き継げていけそうですか。やっぱりハーリー武士（むし）はいますか。

一同…います。

座長…各村によって練習方法が違うんですね。各村の秘密というか、秘策は漏れないようにしていますか。

上原伯…あまり言えない部分があるが、みんなあるかなと思います。

座長…作戦がある？

一同…うーん（苦笑）

玉城…これは言えない、どの村も言えないですよ。

座長…崎浜さん、自治会長会としての、糸満ハーレーにおける役割とはなんでしょうか。

崎浜…資金集めなどですね。

座長…それ以外にはいかがでしょうか。ハーレーの種目に関することはありますか。

崎浜…それはいいですね。各村に（役割などが）分かれますからね。

座長…少年少女バーレーは、自治会長会の種目ですか。



崎山 盛次

崎浜…あれは糸満体育協会の発案です。小学生にも伝統継承しなければ、ということで始まりました。

座長…（少年少女に対しては）漕ぎ方は誰が教えていますか。

崎浜…各区に慣れている人がいますからね。若い監督たちが協力してくれます。

玉城…（少年少女バーレーは）10チーム出ます。担当になった村が子どもたちに教えています。各区の人もみんな集まってきて、一生懸命子どもたちに教えていますよ。

座長…門中バーレーはどうでしょうか。

玉城…あれは別で練習していますね。

上原伯…門中バーレーは、門中で（練習）なんですよ。

崎浜…門中バーレーもかなり結束するよね。

座長…だたん賑やかになってきますよね。では、監督たちと御願事の関係はどうなっていますか。

金城…監督は御願に行きますよ。

座長…たとえばどういう場面で行くのでしょうか。

山巔毛（サンティンモー）にも行きますか。

金城…行きます。前御願と後御願があります。（ハーレーの日の）前日が前御願。自分たち（＝西村）は御

願所を10カ所ぐらい回ります。後御願は本番翌日に同じ箇所を回って、無事終わりましたという報告をします。

座長…監督以外はどのようなメンバーで行くのでしょうか。

金城…監督以外は、そのときに（予定が）空いている人で行きますね。

玉城…これも各村によって違いますよ。

座長…その辺の記録ってあまり見たことないですね。アガイスープが終わってから、それぞれヌン殿内（糸満のヌルの家）まで行きますよね。それも村によってコースが違う。その御願とは別に、また翌日も御願があるんですよ。今後もハーレーを継続していく、伝統を守っていくという部分について、監督の皆さんがどう思っているかを聞かせてください。

上原…伝統文化の行事ですからね。中学生や小学生も楽しんでやっています。（彼らの中でも）すでに伝統になってきています。

金城…下の世代までそのまま残るように伝えていきたいですね。

座長…具体的にはどういうところを尊重して残していきたいですか。

金城…今まで通りですね。ここを改善するという要望はないです。

上原真…伝統だと言われるものが（自分の住む場所にあるのだから、守っていかなければという責任があります）

座長…先ほど、元新島南区の監督である与那嶺和直さんにお話をお聞きしました。漕ぎ方について、昔は「ハニヤーエーク」という漕ぎ方があると話していました。僕も子どもの頃に、見た覚えがあります。今後、「ハニヤーエーク」を残していくというような動きはありますか。（※「ハニヤーエーク」…櫂（かい）を上上げて、鳥が羽を開いて飛ぶような漕ぎ方。櫂を上げるとペースが遅くなり、スピードが重視されるようになる一方で廃れていった）

金城…「ハニヤーエーク」はもうやらないと思います。

座長…いまはタイム競争、早さ勝負になっています

からね。

玉城…昔のわらばーの体力と、今のわらばーの体力は全然違います。「ハニヤーエーク」を強制できない。

座長…他に、意見があればご自由に話しましょう。

崎浜…伝統行事は、若い青年たちが頑張っているの
で今後も継承されていくと思います。(糸満ハーレーは)昔は海人だけでしたが、今はアギンチュ(=主に畑作に従事している人。海人の反対語)も一緒になって守っていこうという気概があります。糸満ハーレーは日曜開催ではなく、現在も旧暦文化で実施しています。そんなところの理由では、なくならないですよ。

座長…一部の人からは、糸満ハーレーも綱引きも、集客しやすい日曜に開催しようという意見があります。監督たちはこれについて、どう思いますか。

一同…旧暦(開催)ですよ。

玉城…これだけは絶対に譲らない。というより、旧暦にやり続けてほしい。日曜に開催すれば、客がいっぱい来ることは分かっています。子どもたちも休みですからね。でも、「旧暦の意味」を教えないといけないと僕は思います。僕は旧暦を残すためだったら、ずっと糸満に残ってもいいという気持ちです。



座長…職場もだんだん融通効かなくなって、大変ではありますね。昔は漕ぐ人たちだけでなく、家族らが岸辺でガーエーをしていました。そういうのはだんだん(仕事などで)できなくなりつつあります。港の造りも、簡単に海に降りられなくなってるから難しいですね。かつてのような賑わいがもう少しほしい

と私が思いますが、いかがでしょうか。

上原真…今でも結構、テントの中はどんちゃん騒ぎですよ。

座長…門中バーレーができてから、結構テントでの応援が増えてきた感じはしますね。門中バーレーが

あるから、平日開催でも結構人がいるなという感じはあります。今後も伝統が守られていってほしいですね。

■編注

※1「本バーレー」…御願バーレー、クンスカセー(転覆競漕)、アガイスープの3つを指す。

※2「わかしバーレー」…以前は各村で、複数のサバニの中から最も早く走れるハーレー舟を選出していた。最も早い2艇を選び、一番早いサバニを上イバーレーに、もう一つを御願バーレー用に分けた。用途を「分ける」ことから、「わかしバーレー」と呼ばれるようになったとされる。

※3「アガイスープ」…(最後の種目競漕。他競漕よりも距離が長く、漕ぎ手らは村屈指の実力者で構成される。アガイスープで優勝することが、ハーレー行事の最高名誉とされている)

※4「御願バーレー」…糸満漁協組合青年部による、神事性を重んじた競漕。競漕の先着順に白銀堂(イーピンメー)堂に詣で、一年の大漁祈願と航海安全を祈願する。

(そのほか)

・漕ぎ手について…乗り手は鉦打ち1人、舵取り1人、シンカ(漕ぎ手)10人の計12人で構成される。(御願バーレーはデーフィ(旗振り役)1人を加えた13人)。乗る位置は先頭から鉦打ち、一番エーク、二番・三番・四番・五番エークが各2人、六番に1人、舵取りの順番に座る。

■参考文献

・糸満市ホームページ